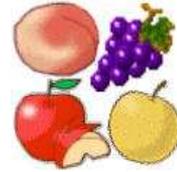




# 平成24年度 果樹情報 第1号

(平成24年4月3日)



福島県農林水産部農業振興課

## 1 気象概況 (3月下旬：果樹研究所)

3月の平均気温は5半旬が4.6℃で平年より1.4℃低く、6半旬が6.9℃で平年より0.2℃高い状況でした。この期間の降水量は32.0mmで平年の116%でした。

## 2 発育状況 (果樹研究所)

- (1) モモ「あかつき」の発芽は3月31日で平年より5日遅く、「ゆうぞら」は3月30日で平年より3日遅い状況でした。
- (2) ナシは近日中に発芽する見込みです。
- (3) リンゴ「つがる」の発芽は4月1日で平年より5日遅く、「ふじ」は近日中に発芽する見込みです。

表1 発芽・展葉状況

樹種	品種	発芽			展葉		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
モモ	あかつき	3月31日	3月26日	3月28日	—	—	—
	ゆうぞら	3月30日	3月27日	3月29日	—	—	—
ナシ	幸水	未	4月3日	4月8日	未	4月17日	4月16日
	豊水	未	3月31日	4月7日	未	4月12日	4月13日
リンゴ	つがる	4月1日	3月27日	3月30日	未	4月11日	4月14日
	ふじ	未	3月29日	3月31日	未	4月10日	4月12日

注) 平年は1981～2010年の平均値。

## 3 開花予測 (果樹研究所)

今後の気温が平年並みに経過した場合、モモ「あかつき」の開花始めは4月19日頃で平年より4日遅く、リンゴ「ふじ」の開花始めは4月30日頃で3日遅いと予測されています。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるため注意が必要です。

表2 開花予測日 (4月2現在)

樹種	品種	開花始め		今後の気温経過と開花予測日		
		昨年	平年	平年並み	2℃高い	2℃低い
モモ	あかつき	4月18日	4月15日	4月19日	4月16日	4月22日
リンゴ	ふじ	5月1日	4月27日	4月30日	4月25日	5月5日

注) 発育速度 (DVR) モデルによる発育予測。平年は1981～2010年の平均値。

### 東北地方1か月予報(仙台管区气象台 平成24年3月30日発表)より

今後の気温経過は、1週目 (3月31日～4月6日) は低い確率が80%、2週目 (4月7日～4月13日) は低い確率が50%、3～4週目 (4月14日～4月27日) は平年並の確率が40%となっています。

**長期間の低温に関する福島県気象情報 第1号**  
**(福島地方気象台 平成24年4月2日発表)より**

福島県では3月10日頃から気温の低い状態が続いています。この気温の低い状態は、今後1週間程度は持続し、かなり低くなる時期もある見込みです。低温により農作物の生育の遅れや霜などによる被害のおそれ等がありますので、十分注意してください。

4 栽培上の留意点

(1) 防霜対策

生育が進むにつれて耐凍性が低下し凍霜害の危険性が高くなるので、気象情報に十分注意して、防霜対策を徹底してください。

事前対策としては、防霜資材の準備を徹底しましょう。また、下草は4月中旬以降をめどに5cm程度（地際部まで刈ると放射性物質をまきあげのおそれあり）に刈り込むとともに、空気や土壌が乾燥している場合は適宜かん水を実施し、土壌水分を確保しましょう（乾燥条件は気温の低下が著しいため）。

なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉を徹底し結実を確保してください。

**果樹の凍霜害対策のための温度指標**

果樹の凍霜害対策のための生育ステージ別温度指標を、農業総合センター果樹研究所ホームページに掲載していますので、参照してください。

アドレス：<http://www.pref.fukushima.jp/kajyu-shiken/homepage.htm> で、メニューの技術資料をクリックしてください。

(2) 結実確保対策

開花期は直前の気温に大きく影響されるため、今後の気温の推移に注意して、訪花昆虫の導入や共同開やく所の開設、人工受粉のための労力確保などを計画的に実施しましょう。

5 病虫害防除上の留意点

(1) 病害

ア リンゴ腐らん病

伝染源となる枝腐らん、胴腐らんの発病部位は確実に削り取るかせん除し、塗布剤を塗布してください。なお、伐採した被害枝幹、および削り取った病患部は園内に放置せず適切に処分してください。

また、展葉初期の防除を徹底してください。

イ モモせん孔細菌病（モモ、ネクタリン）

前年の秋期は発病が多かったため、開花直前の防除を徹底し感染防止を図ってください。また、春型枝病斑は開花後頃から見られるため、疑わしい枝枯れ症状は見つけ次第せん除しましょう。

ウ ナシ黒星病

本病は前年の被害落葉や罹病芽（りん片）が伝染源になり、開花前から胞子を飛散するため、発芽1週間後の防除により、初期感染防止に努めましょう。

(2) 虫害

ア 主要チョウ目害虫の発生時期

今後の気温が平年並みに経過した場合、キンモンホソガおよびナシヒメシクイの防除適期は、4月6半旬～5月1半旬と推定されます。なお、有機リン剤は訪花昆虫に対して影響が大

きいので、散布時期が遅れないように注意しましょう。

#### イ モモハモグリガ

今後の気温が平年並みに経過した場合、防除適期は4月6半旬～5月1半旬と推定されます。なお、今後の気象経過により防除適期は変動するため、落花10日後頃の防除を徹底しましょう。

#### ウ リンゴハダニ

リンゴハダニのふ化盛期は4月6半旬頃と予想されます。越冬卵密度の高い園では、落花後以降の発生密度に注意し、要防除水準（1葉当り雌成虫1頭以上）に達したら殺ダニ剤を散布しましょう。

#### エ リンゴモンハマキ（モモ、ナシ）

今後の気温が平年並みに経過した場合、越冬世代成虫の誘殺盛期は5月22日頃と予測されます。昨年、本種の発生が多かった園では、越冬世代の密度低下に努めましょう。

本種は枯れ葉を枝等に貼り付けた中にマユを作り、若齢幼虫態で越冬する（図1、図2）ので、摘らい作業などと平行して越冬マユを除去しましょう。なお、越冬量の多いモモ園では、開花10日前頃に必ず防除を実施してください。

表3 果樹研究所における主要害虫に対する防除時期の推定

(演算方法は三角法・平成24年4月1日現在)

	モモハモグリガ	リンゴハダニ	リンゴモンハマキ
	越冬世代 誘殺盛期	越冬卵 ふ化盛期	越冬世代 誘殺盛期
今後の気温予測			
2℃高い	4 / 2 1	4 / 2 1	5 / 1 4
平年並み	4 / 2 4	4 / 2 6	5 / 2 2
2℃低い	5 / 1	5 / 4	6 / 3

起算日：3月1日



図1 リンゴコカクモンハマキ越冬場所  
(枝に貼り付いた枯葉)



図2 リンゴコカクモンハマキ越冬虫

#### 病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

<http://www.pref.fukushima.jp/fappi/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。